



感染症週報



小笠原での流行状況

第37週（9月8日から9月14日まで）

父島 特別な感染症の報告はありませんでした。

母島 COVID-19の報告が7例ありました。

※ 5例以上発生時に実数報告としています

東京都全体での流行状況

第36週（9月1日～9月7日）

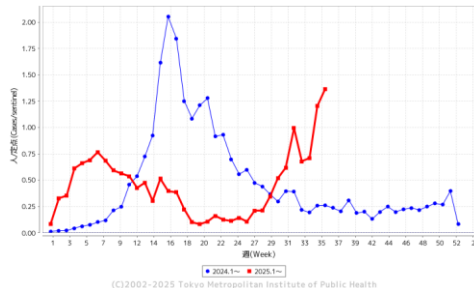
【警報・注意報】

なし

【ピックアップ】

★増加しています

- ・RSウイルス感染症
(定点患者報告数 1.37)



★まだまだ注意が必要です

- ・新型コロナウイルス感染症
(定点患者報告数 3.98)
- ・百日咳
(累計報告数 5,698例)

RSウイルス感染症

～全員かかるからこそ、守るべき人を守ろう

RSウイルス感染症はRSウイルス(Respiratory syncytial virus)による呼吸器の感染症です。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれるウイルスを吸い込むことによる「飛沫感染」、ウイルスが付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」で感染が広がります。



2歳までにほぼ全員一度は感染するこの感染症、
いったい何を注意したらよいのでしょうか？

RSウイルスは免疫が付きにくく、何度でも再感染します。
大切なことは「重症化を防ぐこと」です。



重症化リスクのある人たち

- 生後生後6か月未満の乳児
～細気管支が細く、免疫系も未熟でウイルスに弱い。
- 早産児・基礎疾患のある子ども
～心臓や肺機能に問題があるとウイルスに負けやすい。
- 高齢者(特に慢性疾患がある人)
～成人RSV感染は診断が遅れやすく、死亡率も高い。
- 医療・保育従事者
～接触が多いとウイルス量が多く重症化することもある。
- 妊娠している人
～妊娠中は免疫力が低下しているため、重症化しやすい。

重症化リスクのある人を守るために

手洗い・換気・マスクを習慣にしましょう
風邪気味のときは赤ちゃんや高齢者と距離を置きましょう
保育・高齢者施設ではこまめな消毒をしましょう

感染症メモ

出典、参考：
東京都感染症情報センター CDC

RSウイルスは、赤ちゃんから高齢者まで誰でもかかる可能性がある呼吸器のウイルスです。最近では、高齢者や妊婦さん向けのワクチンも登場し、都市部では少しずつ広がってきています。妊婦さんがワクチンを接種することで、赤ちゃんに抗体が移り、生まれてすぐの感染リスクを減らすことができるという研究もあります。ですが、まだまだ接種体制や流通の面で課題があり、現時点では「誰でも受けられる」という状況にはなっていないのが現実です。だからこそ、島では「かからないようにする」よりも、「重症化しやすい人を守る」ことがとても大切です。赤ちゃんや高齢者、持病のある方がいるご家庭では、手洗いや換気、マスクなどの基本的な感染対策をしっかり続けましょう。保育施設や高齢者施設でも、日々の衛生管理が感染拡大を防ぐ鍵になります。地域みんなで気をつけることで、島の健康を守る力になります。できることを積み重ねていくことが、安心につながります。

習慣にしよう！

感染予防の基本は手洗い



東京都島しょ保健所小笠原出張所